

(公社) 神奈川労務安全衛生協会小田原支部 入会のご案内

令和8年 4月

第14次労働災害防止計画（以下14次防）は令和8年で4年目を迎えます。コロナ禍で翻弄された13次防でしたが、それ以前から危惧されていたのは「少子高齢化社会の進展とその影響」でした。それが14次防の中で現実問題として顕在化しています。現在、増加に転じている労働災害（4日以上休業災害）における重要課題は高年齢労働者の行動災害（転倒、腰痛等）の削減に絞り込まれてきました。

この課題解決には、個人の生活習慣の改善から就労環境の改善まで、幅広く対応していく必要があります。まさに「社会環境をエイジフレンドリー」に変えていくという課題です。

労働災害防止の取り組みは、事業者による安全衛生管理体制のもと災害防止意識を醸成し、従業員の行動変容につなげていくことが重要と言われてきました。14次防の中では、その取り組みを「法令順守型から自律的な管理へ」というメッセージのもと、事業者自身の采配に基づく具体的施策の実行を求める目標に転換しています。

そして、エイジフレンドリーの課題は、我々一人一人が、自身の「安全と健康」を自覚し、改善行動につなげるという「原点」に向かっています。

小田原支部では各事業場で必要な法定講習について法改正に対応したラインナップで開催しております。また、今後重要となるエイジフレンドリー対応についても「事業者&従業員」の「知識／行動変容」の向上につながるにセミナーを提供していきます。コロナ禍で導入した「オンラインセミナー、オンデマンドセミナー」などITを活用した講習スタイルも継続していきます。

是非、ご入会いただき各種サービスをご活用いただきますようご案内いたします。

<添付資料>

- ・ (公社) 神奈川労務安全衛生協会 小田原支部 法定講習／教育セミナー内容
教育セミナーテーマ実績
- ・ (公社) 神奈川労務安全衛生協会 (本部) のご案内
- ・ 令和8年度 神奈川労務安全衛生協会小田原支部 主要行事一覧表 (講習計画)
- ・ 入会届
- ・ 会費に関する細則

お申込み 問い合わせ先

小田原支部 電話 0465-24-1753 事務局長 鎌田

入会手続き 申込み用紙 (添付入会届) を支部へ郵送

〒250-0012 小田原市本町 2-3-24 青色会館 2階

(公社) 神奈川労務安全衛生協会 小田原支部 宛

(申込み用紙: 支部ホームページからも入手可能)

<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/odawara/index.html>

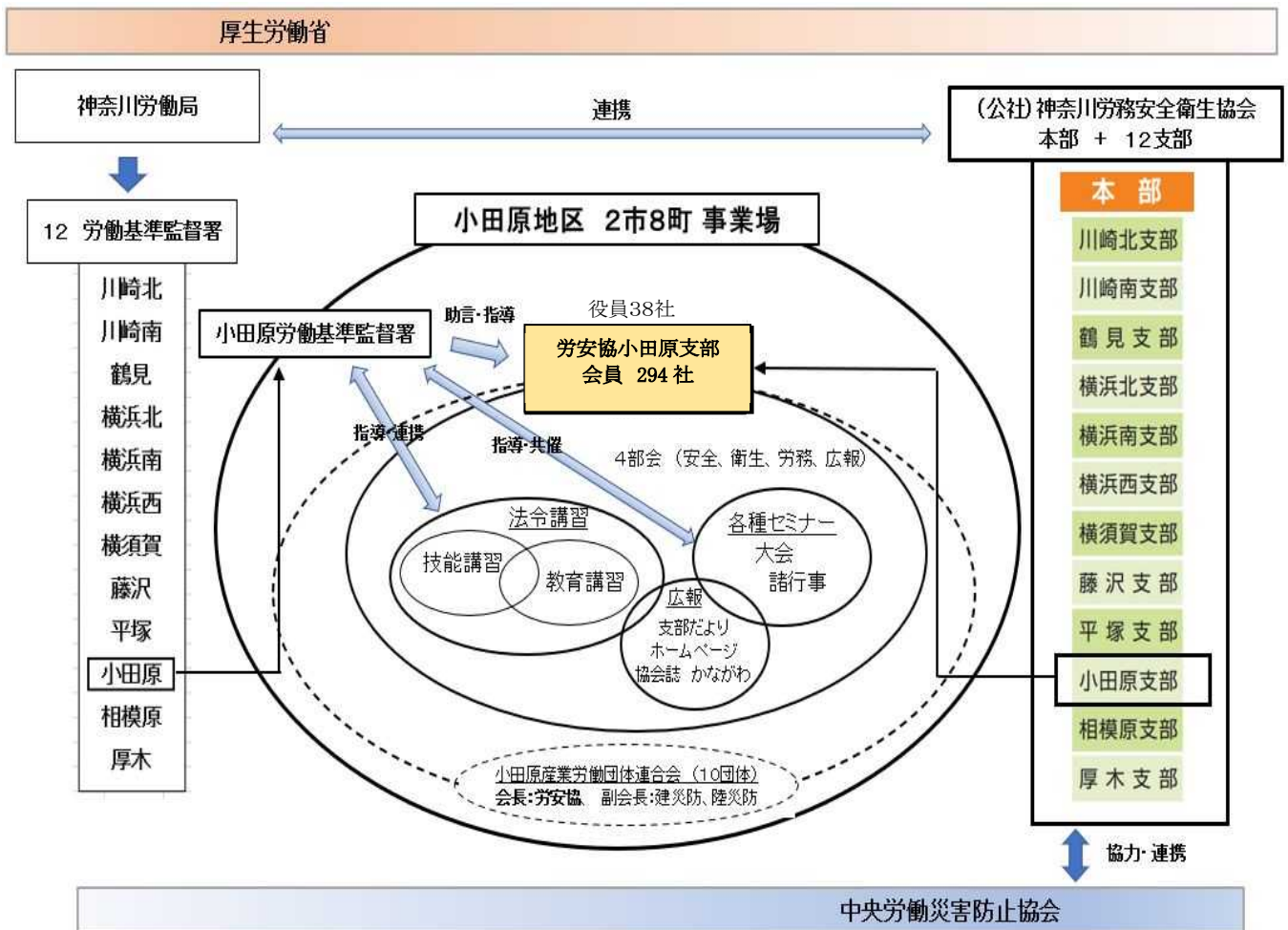
(公社)神奈川労務安全衛生協会 小田原支部 ご案内



神奈川労務安全衛生協会は昭和22年に民間で発足し、その後、**横浜本部**と**県内12支部**で構成された神奈川県知事認定 公益社団法人として発展してきました。**小田原支部**は**県西2市8町の事業場**を会員として事業活動する支部となっています。

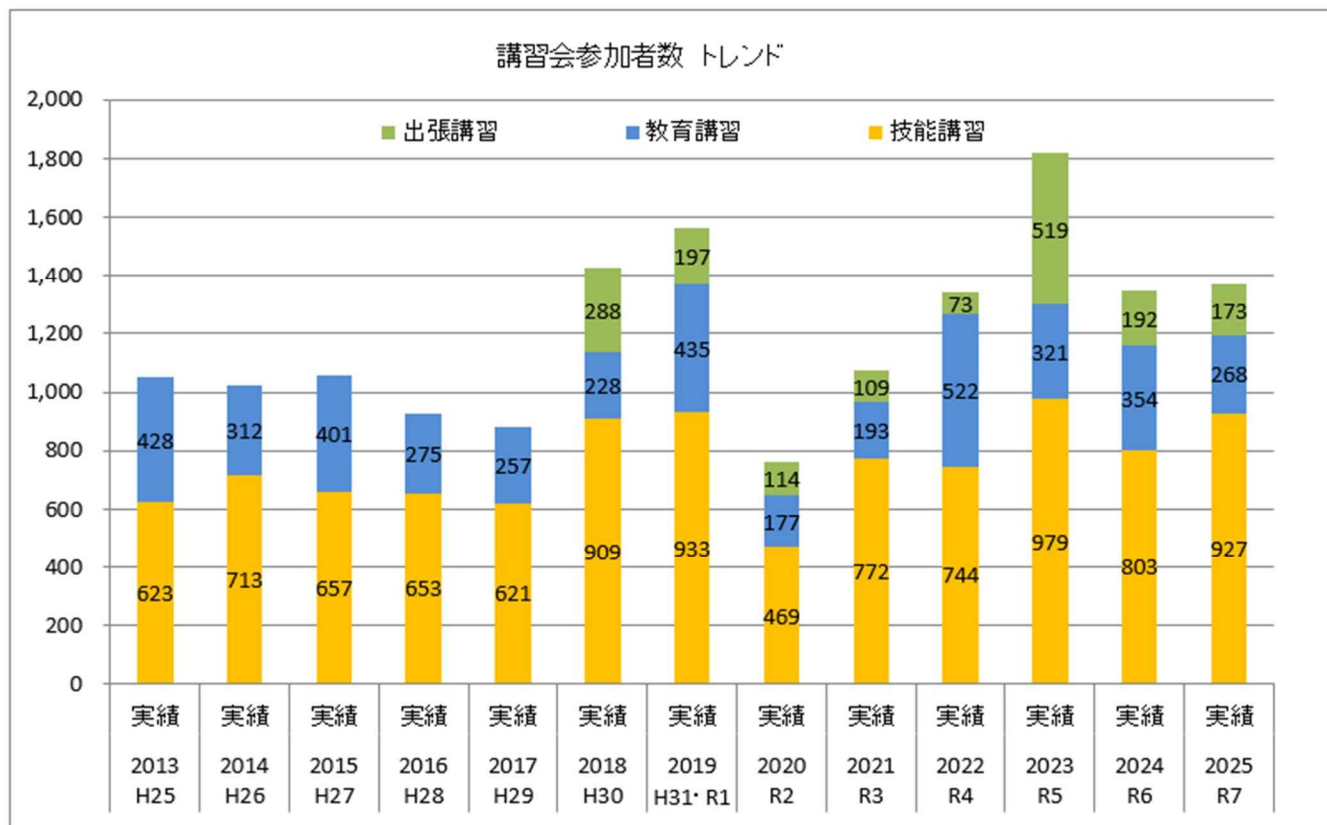
小田原支部の事業目的は

小田原支部を取り巻く行政や各産業団体との関係を以下に示しました。小田原支部の事業目的は地域の労働行政や産業団体と連携し「**事業場における適正な労働条件の確保、労働災害の防止、健康保持増進のための活動を促進し、労働福祉の向上と産業の健全な発展に寄与する**」ことにあります。



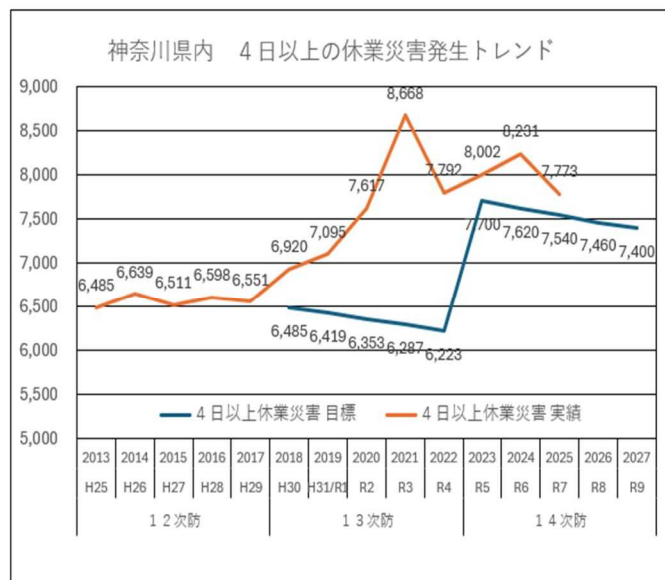
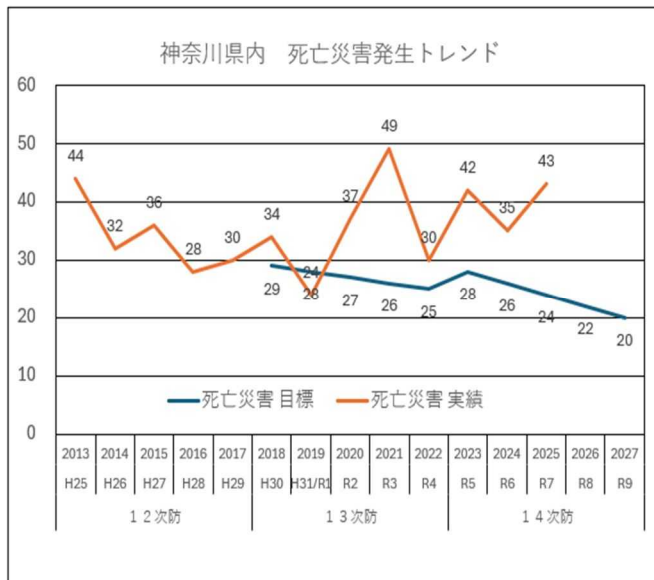
具体的活動内容は

- 1. 行政方針・施策の地域展開支援 … 教育講習会の企画・開催 (R7年度実績 12回／268名)**
 全国安全週間推進大会、全国労働衛生週間推進大会など第14次労働災害防止計画における行政施策の啓発活動、法令改正などの労務管理・法令講習会、メンタルヘルス、健康保持増進に関する衛生講習会、経営者啓発の場としての経営者セミナーなど、幅広く教育セミナーを企画・実施しています。
- 2. 技能講習の実施 … 技能講習／特別教育の企画・開催 (R7年度実績 48回／927名)**
 神奈川労働局登録講習機関として各種資格取得講習、事業者に代わって従業員への特別教育など幅広く技能講習を実施しています。ご要望に応じて、出張講習にも応じています。
- 3. 出張講習の実施 … 技能講習／特別教育の出張講習 (R7年度実績 8回／173名)**
 会員の要望に応じた講習内容を、直接事業所に講師を派遣し現場で実施する出張講習を実施しています。特に、法改正に伴い整備が急務となる「法令講習」の一括受講などのニーズに応えています。
- 4. 労働環境の変化や経営リスクをテーマ化したセミナー開催**
 自然災害リスクの高まりを捉えた「防災・BCP講習会」、「高齢労働者」の安全衛生をテーマとしたエイジフレンドリー対応企画、化学物質管理の自立的管理講習・・等々、社会変化に伴う課題を捉えた新規講習会を企画しています。また、支部部会によるアンケートなどに基づくセミナーを企画しています。



現状認識：増加に転じた労働災害

下のグラフは過去12年間の神奈川県内で発生した労働災害の発生トレンドです。現状は第14次労働災害防止計画における労災削減目標と大きく乖離し、死亡災害も4日以上労働災害も増加に転じています。これは全国も同じ傾向となっています。



激変する就労環境、労働災害の増加に対応した安全活動は

働き方改革、高齢労働者の増加、コロナ禍、オンライン会議やリモートワークの進展・等々、就労環境が激変する中、労働災害が増加に転じ更に増える懸念が見て取れます。これらの現状を踏まえ「第14次労働災害防止推進計画」の4年目となる令和8年度はアップトレンドに歯止めを掛けるより具体的な取り組みが必要となります。

事業者求められる「自立的安全衛生対策の促進」

このような労働災害発生状況を踏まえ、第14次労働災害防止計画の骨子には災害増加が顕著な中小企業に対し「事業主による自発的な取り組みを強化する内容」が織り込まれています。また、具体的対応施策実施指標(アウトプット指標)と達成結果指標(アウトカム指標)の2つの指標を設けることで対策の実行性を高め、その効果を検証する目標設定に転換しています。

小田原支部が重点化する災害防止教育・・「職長教育」

現場の安全の要は「職長」と言われています。職長を取り巻く就労環境が大きく変わる中、職長に必要とされる「情報・知識・スキル」も変化しています。また、職長教育対象業種が食品製造業や印刷物加工業等に拡大する法令改正を受け、小田原支部では職長教育に最新の行政情報やスキルを織り込む内容にリニューアルしました。令和2年3月31日「製造業における職長等に対する能力向上教育について」(基発0331 第7号)の通達を受け、令和3年度に新設した「職長の能力向上教育」のプログラムと合わせて重点実施講習会として会員の皆様の受講を促進していきます。

小田原支部が提供するサービス

小田原支部では、特別教育や技能講習などの法定講習を中心とした講習会を開催しています。また、法定講習以外に、ワークライフを充実したものにするための 教育・啓発セミナー を開催しています。

本年度もタイムリーなテーマを設定し、受講し易いようにハイブリッド形式で開催する予定です。以下、開催講習(令和8年度予定)とこれまでの教育セミナーテーマの実績一覧となります。

1. 令和8年度 法定講習／教育セミナー開催予定の技能講習／教育講習

大分類	講習名	年間 実施回数	実施月度	
法令講習	1 新入者教育(リアル)	1	4月	
	2 新入者教育(オンライン)	1	4月	
	管理者 養成講習	3 職長教育	4	5, 8, 11, 2月
		4 職長の能力向上教育	2	9, 2月
		5 安全管理者選任時研修	3	6, 10, 3月
		6 安全衛生推進者養成講習会	3	6, 9, 12月
		7 衛生推進者養成講習	2	7, 1月
	特別教育 技能講習	8 フルハーネス特別教育	5	5, 8, 10, 12, 3月
		9 化学物質管理者選任研修 (取り扱い事業所対象)	2	5, 11月
		10 保護具着用管理責任者選任研修	4	6, 9, 12, 3月
		11 フォーク 特別教育	2	4, 10月
		12 クレーン 特別教育	2	6, 12月
		13 玉掛け 特別教育	2	7, 1月
		14 研削といし 特別教育	1	7月
		15 粉じん 特別教育	2	7, 1月
		16 テールゲートリフター 特別講習	2	7, 12月
		17 騒音障害管理者 特別教育	2	8, 3月
	教育講習	18 熱中症予防管理者教育	3	6, 7, 8月
		19 有機溶剤従事者安全衛生教育(オンライン)	2	5, 1月
		20 特化作業主任者 技能講習(地域講習)	1	6月
21 リスクアセスメント研修(機械&化学)		2	7, 11月	
22 K Y T 基礎実践研修会		3	7, 11, 3月	
23 危険体感研修		4	6, 8, 11, 2月	
24 衛生管理者試験準備講習会		1	10月	
25 健康保持増進講習会(リアル&オンライン)	2	11, 2月		
26 届出手続き講習会(オンデマンド)	1	8月~		
27 普通救命講習I	1	9月		

合計 60 回

2. 令和3年度～7年度まで 企画してきた 教育・啓発セミナーテーマ一覧

大会企画

- ・全国安全週間小田原地区推進大会 特別講演
- R3 『労働災害の現状と課題』
- R4 『今日からできる転倒・腰痛対策』
- R5 『ストレスを軽くする「ものの見方・考え方』
- R6 『ゼロ災運動のこれから』～Beyond Zero～
- R7 『職場における熱中症予防』～正しい知識と対応で熱中症予防～

・全国衛生週間小田原地区推進大会

- R3 『心を調えるマインドフルネス入門』
- R4 『健康寿命を延ばす食生活』
- R5 『人生100年時代 自分の身体を知ってセルフメンテナンス』
- R6 『ポジティブ・メンタルヘルス』～前向きに元気に働く～
- R7 『コミュニケーション力の向上』～伝える力で職場を活性化！～

・経営者セミナー

- R3 『ナッジで人を動かす』
- R4 『まちおこしは総力戦で挑め！』
- R5 『「激闘！ 関東三国志」～戦国時代に見るリーダー像～
- R6 『グレートジャーニー』～地球を這って感じたこと、考えたこと～
- R7 『日本の海で何が起きているのか』

健康保持増進セミナー（リアル＆オンライン企画）

- R3 『コロナ禍でのメンタルヘルスマネジメント』
- R4 『腰痛対策について』
- R5 『転倒予防に役立つからだの使い方と作り方』～プロから学ぶ、自己チェックと対策～
『快適睡眠の実践』～人生100年時代、健康寿命につながる睡眠とは～
- R6 『新しい健康づくりのための身体活動・運動基準の概要と活用のポイント』～日常生活における運動の工夫～
『ストレスチェック制度の効果的な実施と結果の活用について』～働きやすい元気な職場をつくるために～
- R7 『職場のハラスメント』～メンタルヘルスの側面から考える～
『職場のメンタルヘルス対策の推進』～義務化対象が拡大されるストレスチェックに向けた対応と課題～

労務管理教育セミナー（リアル＆オンライン企画）

- R3 『職場におけるハラスメント対策について』
『届出手続き講習会（オンデマンド配信）』
- R4 『化学物質管理の大転換（支部連共催）』
『届出手続き講習会（オンデマンド配信）』
- R5 『届出手続き講習会（オンデマンド配信）』
- R6 『届出手続き講習会（オンデマンド配信）』
- R7 『届出手続き講習会（オンデマンド配信）』

3. 個別 出張講習会、個別 オンライン講習会の実施

事業場での複数名の受講者に対応した講師派遣リアル講習会（出張講習会）に加え、会員ニーズに応じ個別オンライン講習会等のサービスを行っています。

以上、小田原支部の事業運営についての概要となります。以下のホームページで発信していますので、是非ご覧ください。

<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/odawara/>

<問い合わせ>

（公社）神奈川労務安全衛生協会 小田原支部 小田原市本町 2-3-24 青色会館 2階

TEL 0465-24-1753 FAX 0465-24-5820 事務局長 鎌田

付録2

会費に関する細則

第1条 会員の会費（公益社団法人神奈川労務安全衛生協会(本部)費を含む）として、3条の区分による金額を毎年6月末までに納入する。

第2条 公益社団法人神奈川労務安全衛生協会(本部)費は本会費より支出納入する。

第3条 本会費は次のとおりとする。

従業員数	年額(円)
10 以下	8,000
11 ～ 20	10,000
21 ～ 50	13,000
51 ～ 100	17,000
101 ～ 150	22,500
151 ～ 200	28,000
201 ～ 250	33,500
251 ～ 300	39,000
301 ～ 350	44,500
351 ～ 400	50,000
401 ～ 450	55,000
451 ～ 500	61,000
501 ～ 600	67,000
601 ～ 700	73,000
701 ～ 800	79,000
801 ～ 900	85,000
901 ～ 1,000	91,000
1,001 ～ 1,500	115,000
1,501 ～ 2,000	135,000
2,001 ～ 2,500	155,000
2,501 ～ 3,000	175,000
3,001 ～ 4,000	195,000
4,001 以上	215,000

様式-1

・太ワクの中を記入願います。

提出日	年	月	日
-----	---	---	---

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会

小田原 支部殿

入 会 届

入会希望日	年	月	日
-------	---	---	---

フリガナ			社 印	主たる事業内容
事業場名				
所在地	〒		従 業 員 数	
			男	女 計
代 表 者	役 職		フリガナ 氏 名	
	電 話		FAX	
窓口担当者 (労安担当者)	部 署		フリガナ 氏 名	
	メール:			
講習会申込等 実務担当者	部 署		フリガナ 氏 名	
	メール:			

・以下は記入しないで下さい。

支部記入	会員番号	業種コード	入力日	承認印
			/	
備考				

入会届は以下の住所に郵送願います。

郵送先 〒250-0012 小田原市本町 2-3-24 青色会館 2階 電話 0465-24-1753

ご記入いただいた情報は、当協会が責任を持って管理し、講習会案内その他各種情報をお知らせするために利用するもので、その他の目的で利用することはありません。

令和8年度 神奈川労務安全衛生協会 小田原支部 主要行事一覧表 (K6版)

(公社)神奈川労務安全衛生協会 小田原支部 (初版2025.9.16) 改訂:2026.4.27

		支部役員会議	<支部部会>	講習会	オンライン講習会	(共) 共催講習会	新規講習会	産団連企画	<本部関係>	休業日	改訂:2026.4.27												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月										
1	水	金	(計画年休)	月	水	(共) 衛生推進者養成講習 (1回目)	土	火	保護具着用管理責任者研修(2回目)	1	木	日	火	安全衛生推進者養成講習会(3回目)	金	支部年末年始休暇	月	<衛生部会>	月	1			
2	木	土		火	安全衛生推進者養成講習会(1回目)	木	日	水		2	金	月	水		土		火	職長 能力向上教育(2回目)	火	2			
3	金	日	新入者教育(集合講習)	水		金	<夏季講座>	木		3	土	火	(文化の日)	木	日		水		水	安全管理者選任時研修(3回目)	3		
4	土	月	(みどりの日)	木		土		火	熱中症予防管理者講習(3回目)	金	日	水	化学物質管理者研修(2回目)	金	<支部連絡会議>	月	木		木		4		
5	日	火	(こどもの日)	金	安全週間大会(青色会館)	日		土		5	月	木	<衛生部会>	土		火	金		金	<支部連絡会議>	5		
6	月	水	新入者教育(オンライン)	土	(憲法記念日)	月		木	職長教育(2回目)	6	火	金	KYT基礎実践研修会(2回目)	日		水		土		土	6		
7	火	木		日		火	KYT基礎実践研修会(1回目)	金		7	水	土		月		木		木	安全衛生祈願・経営者セミナー	日	7		
8	水	金	支部監査	土	<支部連絡会議>	月		水		8	木	日	火	保護具着用管理責任者研修(3回目)	金		月		月		8		
9	木	土		火	安全管理者選任時研修(1回目)	木	粉じん(特)(1回目)	日		9	金	月	<支部連絡会議>	火	<安全部会>	水		土	健康保持増進講習会ハイブリッド(2回目)	火	9		
10	金	日	役員会(第1回)	水	<安全部会>	金	<支部連絡会議>	月	支部夏季休暇	10	土	火	危険体感研修(3回目)	木	日	水		水	<労務部会>	水	役員会(第5回)	10	
11	土	月		木	熱中症予防管理者講習(1回目)	土		火	(山の日)	11	日	水		金	<広報部会>	月	(成人の日)	木	(建国記念の日)	木		11	
12	日	火	化学物質管理者研修(1回目)	金	<企画部会>	日		土		12	月	木	(スポーツの日)	土		火		金		金	<広報部会>	12	
13	月	水	<労務部会>	土		月	支部だより206号発行	木		13	火	金		日		水	玉掛け(特)(2回目)	土		土		13	
14	火	木		日		火	熱中症予防管理者講習(2回目)<安全部会>	金		14	水	土	安全管理者選任時研修(2回目)	月		木		日		日		14	
15	水	金	第1回 産団連会議	月		水		土		15	木	日	火		金		木		月	粉じん(特)(2回目)	月		15
16	木	土		火		木		日		16	金	月	<安全部会>	火	三役・部会長会議	水		土	危険体感研修(4回目)	火	(三役)会議	16	
17	金	日	定時総会(青色会館5階)	水		金	第2回 産団連会議	月		17	土	火	<労務部会>	木	テールゲートリフター特別教育(2回目)	日	水		水		水		17
18	土	月	<衛生部会>	木	<衛生部会>	土		火	フルハーネス特別教育(2回目)	18	日	水		金		月		木		木	騒音障害管理者特別教育(2回目)	18	
19	日	火		金	有機溶剤教育(オンライン)(1回目)<広報部会>	日		土		19	月	木		土		火	有機溶剤教育(オンライン)(2回目)	金	第4回 産団連会議(企画部会)	金		19	
20	月	水		土		月	(海の日)	木	危険体感研修(2回目)	20	火	金	第3回 産団連会議	日	職長教育(3回目)<企画部会>	月		土		土		20	
21	火	木		日		火	<衛生部会>	金	<企画部会>	21	水	土		月	(敬老の日)	火		木		日		21	
22	水	金		月		水	玉掛け(特)(1回目)	土		22	木	日	フルハーネス特別教育(3回目)	火	クリーン(特)(2回目)	金		月	役員会(第4回)・部会長合同研修会	月	(春分の日)	22	
23	木	土	産団連監査(選手会)	火	危険体感研修(1回目)	木		日		23	金	月	<神奈川大会>	水	(勤労感謝の日)	土		火	(天皇誕生日)	火	KYT基礎実践研修会(3回目)	23	
24	金	日	フォーク(特)(1回目)	水		金	テールゲートリフター特別教育(1回目)	月		24	土	火		木	フルハーネス特別教育(4回目)	日	水		水		水	24	
25	土	月		木	職長教育(1回目)	土		火	騒音障害管理者特別教育(1回目)	25	日	水		金		月		木	<選手会>	木	職長教育(4回目)	25	
26	日	火		金	クリーン(特)(1回目)	日		土		26	月	木		土		火		金	支部だより208号発行	金	保護具着用管理責任者研修(4回目)	26	
27	月	水	<安全部会>	土		月		木	届出手続き講習会(オンデマンド)	27	火	金	健康保持増進講習会ハイブリッド(1回目)	日		水		土	<安全部会>	土		27	
28	火	木		日		火	リフト&スリット研修(機械&化学 1回目)	金		28	水	土		月	支部年末年始休暇	木		日	(共) 衛生推進者養成講習 (2回目)	日		28	
29	水	金	(昭和の日)	月	保護具着用管理責任者研修(1回目)	水		土		29	木	日	フォーク(特)(2回目)	火		金		月		月	フルハーネス特別教育(5回目)	29	
30	木	土	(計画年休)	火	<労務部会>	木		日		30	金	月	<労務部会>	水		土		火		火		30	
31	日			金	研削といし(特)	月		土		31	土	木		日				水		水		31	